

みずえだに新聞

Vol. 32
2020年7月
夏号



〜コロナ禍〜

院内新聞「夏号」は通常七月初めに発行しており、今回も数日前から原稿を考えていたところでした。国からの緊急事態宣言も解除され、六月十九日からは県をまたいで移動も認められるようになり、いよいよ経済活動も徐々にではありますがですが復調の兆しが見え始めていました。そこでこれまでの自粛期間、閉塞的で暗い気分になり、希望的な話題が少なかっただけに、今回の記事は意図的になるべく明るい話題を掲載しようと思っております。

ところが、このコロナ禍において学会やセミナー関係もほとんどが中止となり、新聞の記事に何を書こうかと、なかなか進まない状況の中、七月二日、鹿児島は衝撃が走る事態となりました。

県内初のクラスターの発生。八名の感染が確認されたとのニュースが報道さ

れました。

これまでは割と少ない人数の感染者数で、「鹿児島県人、なかなか頑張ってるなあ」という印象でした。しかしここに来て、これまでの倍近い感染者数が出てしまいました。東京においても二か月以来の百人越えのこと。これが果たして感染第二波なのか・・・。いずれにせよ全国的にまた感染拡大傾向に有る事だけは間違いないなさそうです。



人の往来があれば、そこには必ず感染のリスクが伴うのは当然の事です。

従ってこの事態を打破するためには、個々人が各自気を付ける以外解決の方法はないと思います。「まさか自分が」「自分は大丈夫」などと事を軽く考え、身勝手な行動をとることだけは慎まなければなりません。感染してしまう事は、その人自身が悪いのではない事はわかっています。誰が悪いわけでもありません。だからと言って、何も危機意識も持たず、手立ても打たないので、そのリスクは自ずと高くなると思ふのです。「精一杯、やるだけの事はやる。出来ることはやる」その気持ちだが、得体の知れない敵を脅かす一つの手段だと思えます。

おそらく、今は大半の人たちが「対岸の火事」的な、自分とはまだそんなに関係のない話だ、ぐらいにしか思っていないのかも知れません。人により温度差があるようです。しかしもうそこまで敵はやって来ています。身近で感染者が出れば、誰しもが恐怖におののくに違いありません。自分もどうなるかわからない



キバレ!かごつま!

し、自分の家族に、知り合いに感染させてしまうかもしれないのです。その時の状況を想像してみてください。おそらく誰もが軽率な行動などおそれる筈がありません。ですからそうならない為にとるであろう行動を常日頃から皆がとって欲しいと思えます。

感染予防における「標準予防策(スタンダードプリコーション)」院内新聞の前号で紹介しました。すべての人が感染源になり得るといふ考えの下に感染防御を行う。同じ考え方だと思えます。どうかこういう時だからこそ皆一丸となって、新型コロナウイルスという目に見えない大敵に負けないように頑張りましょう。

院内研修(院内感染対策)

今回はコロナだらけの記事になってしまいましたが、しかし今は現状から顔を背けるわけにはいきません。

「withコロナ」。終息にはまだまだ時間がかかるでしょう。かと言って何もしないで家に閉じこもったままでは生活は成り立ちません。この感染症を理解し、この感染症から身を守るためにはいかにすべきか、そういうことをしっかりと学習し、これからのコロナと共存しながらの社会生活に役立てていかなければなりません。

我々歯科の分野は割と感染のリスクの高い分野と言われています。しかし各々の医院の先生方がしっかりとした感染予防対策を講じている賜物でしょう。今のところ歯科医院での感染例は全国でも皆無です。しかし油断してはなりません。いっただけのような形で感染を引き起こすかはだれにも予想できる範疇ではなく、常日頃から危機感や緊張感を十分持って、診療に当たらなければなりません。

そこで当院では、この新型コロナの

蔓延がよい機会だと捉え、コロナウイルスの感染に限らず、いかなる感染症の院内感染防止の為に、今一度気持ちを引き締めるといふ観点から、院内研修会を去る六月四日に行いました。くしくもこの日は「旧虫歯予防デー」でもあり、より身の引き締まる想いでした。



全員参加での院内研修

おおよその内容としましては、何度も出てきます標準予防策に基づいた感染対策・感染のメカニズム・感染経路・手指消毒・個人防護など一からおさらいという形で行いました。歯科の場合特に器具類の消毒・滅菌の徹底や診療台の消毒など更に徹底しなければならぬ分野があり、その辺は入念に行いました。

心温まるはなし

コロナコロナの渦中、一つくらいは良い話、心温まる話もしましょう。

ここに来てだいぶ、マスクや消毒液など一時よりはだいぶ医療物資なども手に入られるようになってきました。感染が始まった当初は、本当に何一つ購入できず、これからの診療はどうなることだろうと心底心配しておりました。マスクなども一日一枚から数日一枚と、何とか切り盛りしながら、耐え忍んできました。そのうち他の紙製品なども品薄となってきました。

そこで当院では、患者様にご協力を頂くという戦法に出ました。コップや

エプロンを出来る範囲で持参して頂いたのです。すると予想以上の方がご協力をして頂き、本当に急場をしのぐことが出来ました。その姿を見て私は本当に心から嬉しく思いました。と同時に患者様にこんなことをお願いして心苦しいとも思いました。しかし一人一人が出来ることからやる。そうすれば大きな力となり何かしらの成果を上げることが出来る。この時まさに今のご時世、みんなが心掛けなければいけない精神ではないかと思ひ、新たな力が湧いて来たような気がしました。本当に皆様には、心より御礼申し上げます。本当に思います。またこうすることでごみの量も減らせますし、エコにもいいのではないかと思ひ、出来る範囲でこれからも続けて行ければなあと思ひます。物資もある程度入ってきてはいますので、あくまでご無理のない範囲でお願い出来ればと思ひます。



タオル

コップ



マイ歯ブラシ



当院でおこなっている 感染防御策

この記事を書く頃、ちょうど鹿児島での感染が拡大しているところで、昨日も新たに県内各所で三十人近い数の陽性者が出たとのことでした。

このコロナ対策につきましましては、当院でも以前より取り組んではいきましたが、ここに来てより徹底した感染予防策を講じていきたいと考えております。

そこで当院で今おこなっている、感染予防策についてお知らせしておきたいと思います。

以下に今ではどこでも当然行われている予防策ではありますが、列挙します。と同時に他におこなっている対策としては、来院時の検温、空調稼働時においても極力換気、診療時間中も数回にわたって、様々な場所の消毒作業など、まさに今出来ることを出来る限りおこない、院内感染の防止に努めております。



受付カウンターへの アクリル板の設置



常に対面で接しなければならぬ受付には飛沫防止のためアクリル板を設置しました。

消毒液の設置



入室時に消毒をお願いしています。

待合での混雑防止の為、 車内待機機をお願い



とにかく「密」の状態を作り出さないという事が重要です。従いまして、患者様には大きな負担をかけてしまっているのですが、一度受付をして頂いた後、再度お車の中で待機して診療待ちをお願いしております。

そこで威力を発揮しているのが、写真にある「呼び丸君」という代物です。よく施設のフードコートなどで使われているブザーです。最初はいちいちスタッフが車まで呼びに行っていたのですが、この「呼び丸君」が随分活躍してくれています。

天気の良い日などは本当に皆さんにはご苦勞をお掛けしますが、ご協力の程、よろしくお願い致します。

診療台の間に ビニールカーテンの設置



当院の診療台は圧迫感を感じないようにとの想いで、隣との間のパーティションの高さが、さほど高くありません。そこで個室診療台以外のところには、ビニールカーテンで間仕切りをしました。診療内容により開け閉めして、隣の台への飛沫を防ぐことが出来るようにしてあります。歯科の場合、この仕切りはかなり有効かと思えます。

幸恵先生の 歯のはなし



今年の豪雨が続き、梅雨明けが待ち遠しい日々です。また、昨年末から続く新型コロナウイルスの影響で、何となく思い切り外出を楽しむという気分にはなれません。三密に気を付けながら日常生活を取り戻していきたく思っています。最近では集団感染も発生し、なかなか終息してくれそうにありませんが、気持ちだけは前向きにありたいと思っています。

考えています。

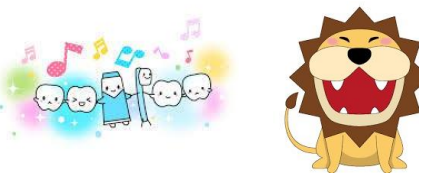
新型コロナウイルスの影響で、新しい生活様式という考え方が広がっています。当院でも物資が品薄な事から、皆様にコップやタオル、歯ブラシの持参をお願いしております。嬉しい事に予想以上に協力してくださる方が多く、更にはご自分の分以上の物を差し入れしてくださる方、手作りマスクを下さる方もあり、本当に有難く感謝しております。プラスチック製ゴミ袋の無料配布がなくなるなど、環境問題について考えるうえでも、歯ブラシ等の持参は、今後も無理のない範囲で継続していただけないのではないかと

歯ブラシを持参してくださる方は、その歯ブラシを見ることで色々な事がわかります。選んだ歯ブラシが形状やサイズなどお口の状態に合っているかを見極め、次に選ぶ歯ブラシについてのアドバイスをさせていただきます。また毛先の開き具合で磨き方の癖や時には性格もわかるため、歯磨き指導の参考にさせていただきます。ぜひ今お使いの歯ブラシや歯間ブラシ等をお持ちになっていただきたいと思えます。

感染予防のために、休日も自宅にいる時間が長くなり、断捨離を思うのですが、断捨離出来ない人の典型で、捨てるの考えが頭をよぎり中々進みません。要らない資料だけでも捨てようと思うのですが、これも新型コロナウイルスの影響で毎日たくさん資料が送られてきて、捨てるものより新たに送られるものが多い日々です。物が多しと言え、我が家の洗面所には歯ブラシや歯磨き剤のサンプル品、自分で購入した新商品など、

色々な物が揃っています。その中から、今は3種類の歯磨き剤を使用しています。朝はフッ素を多く含んだ歯の根元のむし歯を予防する歯磨き剤、昼は舌の汚れを落とす効果があるという歯磨き剤、夜は歯周病を予防する歯磨き剤です。味や使用感が違うので、使い分けをするのもお勧めです。

今年の目標とした活性化のためにはじめた、脳が活性化する百日間パズルは、毎日5分から10分程度でしたが、無事に最後までやり遂げることが出来ました。継続は力なりと信じて、また新しい脳トレにもチャレンジしたいと思います。毎日が何となく息苦しい日々ですが、「命の入り口、心の出口」と言われるお口の健康のために皆さんと共に頑張っていきたいと思えます。



新型コロナウイルスの影響で、様々なイベントもキャンセルとなり、新聞もいつもより少ないページとなってしまいました。お詫び申し上げます。

世の中全体が閉塞感に満ち、不安で寂しい状況ですが、こんな時こそ、お互いがお互いを思いやって、元気を出していきましょう。そうすることで必ずやまた希望に満ちた日常がきつとやって来ると思えます。次号は面白い話題満載の「みずえだに新聞」をお届け出来る事を切に願っております。

なお鹿児島での新型コロナウイルスの感染状況はこの新聞の作成時点で大きく様変わりしてしまいました。

天文館の店で全国でもトップレベルの大規模なクラスターが発生し、感染者総数は一気に百二十数人にまで膨れ上がってしまいました。この数日の間にここまで増加するとはだれが予想していたでしょうか。またここに来て大雨の被害も全国的に発生しています。もう後は上を向いて前を向いて進むしかありません。皆で力を合わせて！

編集後記